

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	科目関連実務経歴
専門	はりきゅう実技6	1	60	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目		
2年生	石井 祐三	解剖学1、生理学、経絡経穴概論1・2、はりきゅう実技5		
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示				
<p>この授業ではトリガーポイントを使用した、筋肉への痛みに対するの刺鍼方法を学びます。また、症状や痛みの範囲からどの筋肉が原因で痛みが出ているかの診断も行っていきます。筋肉の治療は鍼灸師としての最低限必要な治療になりますので、この授業内である程度刺せるようにしましょう。また、1年生で行ったお灸の技術練習も行います。</p>				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など				
<p>はりきゅう実技5では筋肉の場所を理解し、筋肉に刺せる様になる授業ですが、トリガーポイントは筋肉をピンポイントで狙い、刺入感覚で目的の場所に当たっているかを確認する必要がありますので、角度、向きではなく感覚を養っていきます。</p>				
教科書・参考書				
教科書はありません。参考書:はじめてのトリガーポイント鍼治療				
受講時留意点、その他				
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●欠席する場合には、事前にメールか前後で欠席届を提出して下さい。無い場合の資料配布、説明補填はありません。 ●仕事による欠席に関してはアルバイト届(就業届)が提出されていなければ、認められません。 ●身だしなみ(髪の色、ピアス)、服装、名札、靴などが出来ていない場合は欠席とみなします。 				
成績評価方法				
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など		
定期試験	100	実技試験(鍼+灸)		
その他	0			
(合計)	100			

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		トリガーポイントとは？ 概論、鍼の方法、 肩のトリガーポイント治療 (棘下筋) 使用目的、痛みの範囲、刺鍼法		/	
2		肩のトリガーポイント治療 (棘下・上筋、三角筋:前・中・後部) 使用目的、痛みの範囲、刺鍼法		/	
3		肩のトリガーポイント治療 (肩甲下筋、大・小円筋、広背筋) 使用目的、痛みの範囲、刺鍼法		/	
4		肩のトリガーポイント治療 (大・小胸筋、上腕三頭・二頭筋) 使用目的、痛みの範囲、刺鍼法		/	
5		腰のトリガーポイント治療 (脊柱起立・腰方形筋・ 腸腰筋・腹直筋) 使用目的、痛みの範囲、刺鍼法		/	
6		腰のトリガーポイント治療 (大殿筋・中殿筋・小殿筋) 使用目的、痛みの範囲、刺鍼法		/	
7		これまでの復習 お灸練習		/	
8		膝のトリガーポイント治療 (大腿四頭筋、前脛骨筋、 長・短腓骨筋) 使用目的、痛みの範囲、刺鍼法		/	
9		膝のトリガーポイント治療 (腓腹筋、ヒラメ筋) 使用目的、痛みの範囲、刺鍼法		/	
10		頸のトリガーポイント治療 (胸鎖骨乳突筋、前・中斜角筋) 使用目的、痛みの範囲、刺鍼法		/	

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		頸のトリガーポイント治療 (板状筋、僧帽筋、肩甲挙筋) 使用目的、痛みの範囲、刺鍼法		/	
12		トリガーポイント試験(前半)		/	
13		トリガーポイント試験(後半)		/	
14		トリガーポイント試験(後半)		/	
15		総括		/	
16				/	
17				/	
18				/	
19				/	
20				/	